



ロータリーを通じて 世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ奉仕 内山喜一 職業奉仕 高岸三雄 社会奉仕 川村徳男 国際奉仕 齋藤利男 青少年奉仕 佐藤順治
出席報告：会員 70 名 出席 54 名 出席率 77.14 % 前回出席率 77.46 % 修正出席 61 名 確定出席率 85.92 %

≡私達のボランティアとは、子供達 の前を歩く者として、町づくりと して、示す姿勢である、

「世代にかける橋の会」 森 啓二さん

(山大農学部3年在学生)

世代にかける橋というのは、23年前盛岡に発祥しまして、その“ひかり”が仙台に移り山形、秋田、そして鶴岡という道順で“ひかり”が分散して来た活動です。私達、子供と大人の中間に属する青年がこの2つの世代の懸け橋になろうという事で始まったものです。今、私達は“どう考え”“どう生きて行くか”という事で子供達に向き合い、何かをやって行こうという事です。

今では珍しくありませんが、初めは“手話”から始まりました。酒田聾啞学校の文化祭に行った私達の先輩が一人一人の聾啞者の青年と“手話”を通して友達になろうという事で、青年センターで手話サークルを作った事に端を発しました。次に子供祭り“お日様と鍋のフェスティバル”と題し、お日様の下で鍋をかこんで話し合うという主旨で秋、各町内会の子供会を通じて会員をつのり、お日様の下で遊びながら芋を食べるという事で子供会活動を始めました。これは今の鶴岡子供祭りの前身にもなって居ります。そして53年9月から始めた“オモチャの病院”それから“お日様と鍋の交流キャンプ大会”山形・鶴岡の肢体不自由児を対象にした“雪上教室”を山形で行なってきました。又夏には庄内浜で“海浜教室”を行なうつもりです。こうして私達は子供達と向き合い、子供達とどうして接して行ったらいいのか、子供達の前を歩いている青年としての生き方を、どのように表わして行ったらいいのか、一人一人が考え、表わして行きます。今、“オモチャの病院”は約4年経過してまして60人の青年が参加して居ります。

高専の学生、北高、家政高、櫛引高、鶴西高、鶴南高、の高校生といった鶴岡地区の高校生が集まって運営して居ります。オモチャの病院の主旨は、子供に物を大切にするという意識を身につけて貰うためです。本物の病院と同じように診察券を作り、カルテを作り保護者(子供)がオモチャ(患者)を診るという型で進められます。入院も死亡もあります。これまで、ほぼ500のオモチャをなおして来ました。オモチャの廃品回収をして、いらなくなったオモチャ、使えなくなったオモチャを集め、分解し修理し部品を集めたりして、こんどは“オモチャのバザー”をやり、いらなくなったオモチャは再生して又別の子の手に渡り遊ばれます。ただ困った事に現在のオモチャは非常にコワレ易いのです。オモチャによっては“外で遊ぶとコワレル”と但し書きのついたものまであり、本来オモチャは子供達の“創造性”“想像性”を引き出すために意義があるものなのですが、限定された範囲での遊びしか出来ないオモチャでは困るのです。毎年3月には、こうしてどうしても直らないオモチャを集め子供達とお寺の住職さんに来てもらい、オモチャの慰霊祭を行ない子供達に物の心を伝えます。そうして今、忘れられてきた物を大事にするという気持ちを、ささやかな活動ですが子供達に見せて行くのです。

今この活動をやっている高校生は、子供でもなし大人でもないという微妙な、アイマイな年代です。高校生に云わせれば“大人だ”と云いますが、高校生と子供、高校生と親を通してマン・ツーマンの世代のかけ渡しがなされます。そのような高校生が大学、そして社会に出て行く過程において、今迄とは何か違った面が出て来る筈と思います。何かをする時に、その本質を考える訓練にならないかと思うのです。現在福祉、ボランティア、という言葉が随分叫ばれて行動されていますが果して、参加者が全員福祉、ボランティアの名の下に活動しているかは疑問です。これはツクラレタ言葉です。これは“面倒をみる”という事に置きかえ、同じ町内のつながりで上の者が下の者を見ていく、ガキ大将の系列でもいいと思います。ボランティアという言葉は私達にも高校生にも判らない言葉なのです。

ボランティアという言葉の名の下に周りから使役されて行くという面があります。これはおかしい事です。ボランティアという事は、“町づくり”なのです。同じ町に住む私達、子供達の前を歩いている者が示す姿勢だ。活動だ。と考えた方が判り易いのです。そして周りの大人もそのように観て欲しいのです。オモチャの病院は現在高校生の社会活動としてやっていますが、これは地域の問題と考え大人も高校生のみならず地域の教育と考え、その心を大きく、輪を拡げて行くべきだと考えるのです。大人はただみているだけでなく、機械いじりの好きなおじさん、電気の得意なおじさんのように町づくりとして高校生、青年の前を歩くものとして参加して欲しいのです。

庄内に空港を建設しましょう

上野三郎君



近頃、私は好みが変わったようだと
 と言っても、食べ物のことではない
 新調の背広より、十年も前のを着て
 る方が落ち着くし、他人の姿でも、
 カッコいいのもよいが、ボデボデの
 不恰好なものにも、それなりの味わい
 を感じる。食後の満腹感より空腹感の方が快い。
 買いたい物を手に入れた時より、買わないで間に
 合わせた時の充実感が大きい。読書傾向も変わった。
 物事に表から取り組んだものよりも、斜や裏
 からみたものの方が面白くなった。

会長報告

- 2月10日、斎藤利男さんの送別会を中国飯店で
 行なった。12時を廻る時間まで意をつくした感
 があった。参加の方々大変ご苦勞様でした。
- 佐藤元伸さんのお父さんが亡くなり、ご葬儀が
 万福寺で行われ参列して参りました。ご愁傷様
 でした。
- 斎藤栄作さんの病状はどうかと行って見まし
 たが新潟で入院されているとの事でよくは判りま
 せんでしたが、金曜日(19日)には帰られると
 の事です。
- 2月11日、志村喬(俳優)の葬儀に横田庄司君
 が遺族として参列されていた。(叔父さんに当
 るとの事、喪主か?)
- 新会員の佐々木栄一さんから高額のスマイルを
 頂きました。

例会メモ

- 新会員に新任鶴岡電報電話局長の佐々木英一君
 が入会されました。
- 西ロータリー今野裕さん、マレーシアのカジャ
 ンR.Cを訪問するので訪問者一同7名で挨拶
 に来ました。西R.Cとしてはこれまでにない
 壮挙ですので張切って行って参りますとの事
 です。元気でいってらっしゃい。

幹事報告

佐藤元伸副幹事

- ダラス大会へのお誘い
 (国際ロータリー年次大会参加旅行)
- 255地区年次大会の案内
 82年4月23日(金)~25日(日)
 佐野市文化会館
 ホスト 佐野R.C コホスト 佐野東R.C
- 佐藤元伸君父の葬儀参列お礼

新会員紹介

佐々木英一君



このたび入会させていただきました
 た鶴岡電報電話局長の佐々木英一で
 ございます。

前任地の青森では青森北東ロータリークラブに
 入っております多くのロータリアンの方々とお
 知り合いになり、また社会奉仕のお手伝いをさせ
 ていただき本当に楽しいお付き合いをさせていた
 だきましたが、当クラブもそれに劣らぬなごやかな
 雰囲気、きっと楽しいご交際を願えるものと
 今から楽しみにしております。

私ども電電公社も地域社会の皆様のご意見で要
 望を常に謙虚に受けとめながら町の電話局として
 信頼され親しまれるよう努めておりますので遠慮
 なくご叱正を賜りたいと存じます。

また私もロータリアンの一員として皆様方諸先
 輩の驥尾に付しながら職業を通じての社会奉仕に
 今よりも一層努力していきたいと考えております
 のでご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

生 年 大正15年8月15日(56才)
 学 歴 高等府立8中卒(都立小山台高)
 趣 味 海釣り、俳句、マージャン
 現住所 市内家中新町1番35号
 電 話 024 3 000 番

スマイル

- 斎藤利男君東京へ榮転、多額のスマイルがあっ
 た。
- 佐藤忠君14日、ホテル山王プラザにて商工会議
 所議員マージャン大会に四アッコをつもり準優
 勝。

ビジター

- (鶴岡西R.C) 佐藤成生君、加藤有倫君、今野
 裕君、菅原年雄君、菅原幸雄君
 鈴木昭吾君、野口弥君、半田茂
 弥君
 (今週の担当者 石井敬三)